

平成28年度 第1回 ヤンゴン日本人学校運営委員会 議事録

[会議日：平成28年4月21日]

ホームページ掲載用

出席者：本宮委員長，妻鹿前委員長，中村教育担当，梁井 PTA 会長，東書記官，萩野校長

オブザーバー：渡邊教頭（司会・記録），塚本事務長

※最初に，新しく赴任した西野教諭，小林教諭，本多教諭の紹介を萩野校長が行い，本人からの簡単な自己紹介もあった。

- (1) 平成28年度 ヤンゴン日本人学校運営委員会・幼稚園規則等・学校組織の確認
- (2) 前年度の学校会計報告及び今年度の予算・給与について
 - ・日本人学校の当初予算は192名でたてている。今後，更に増えそう。
日本人学校と幼稚部の収支を会計上分けていく。
- (3) 28年度学校経営方針・教育目標，教員配置一覧，教室配置
学力，自立，体力，共生，コミュニケーション能力の5つの力を育てていく。
今年度 電子黒板の活用や ICT 教育の推進，パソコンの導入
携帯電話，スマートフォンのマナー教育推進，運動会の単独開催
- (4) H28年度の年間行事予定と5月の予定
5月 9日 PTA 総会 (5月7日に変更)
- (5) 日本人学校の課題
 - ・教室配置図の確認ー学習室の設置 (小1教室隣)
 - // B棟の取り壊しについて //
 - 歴史のある建物で現状維持を求められているが，地震の多い昨今，耐震性に不安があり，児童生徒にとって危険という観点で当局と交渉を進めていく。
 - // 日本人学校の将来について //
 - 現在の土地に校舎を増築か，他の場所への移転か，検討を進める必要がある。
校舎を移転するとなれば，準備期間も含めて6～7年はかかるだろう。
 - // 幼稚部のキャパが限界に近づいている //
 - 保育環境等の整備について
 - ・幼稚部の前にある外のスペースを有効活用したい。屋根をかける，床をはるなどして，園児が活動できる場所にしたい。
 - ・現在日本人学校の小3が27名，小4が26名，中1が16名と，それぞれ増え続けている。このままでは，近い将来に学年2クラスということが予想される。教室確保のための対策が急がれる。
- (6) その他 次回運営委員会は 5月23日（月）8時30分より校長室で